

耐久高校とは

耐久高校は、国連で「世界津波の日」が11月5日と制定された「稲むらの火」伝説のモデル、濱口梧陵翁らが1852年（嘉永5年）に創設した私立の学舎に始まり、和歌山県内ではNo.1、全国でも屈指の歴史と伝統を有する高校です。

「耐久」という名には「永続」の願いが込められ、これまで、国や社会の在り方が変わり、戦災や津波等の自然災害を被りながらも、「耐久」の文字は消えることなく、高い志を持った卒業生を送り出してきました。約3万人になる卒業生は、政治や経済、医療や福祉、科学技術、芸術や文化、スポーツ等、様々な分野で手腕を発揮し、有田や和歌山県内のみならず、日本さらに世界を舞台に活躍しています。



創立150周年を記念して
校内「耐久の杜」に設置された濱口梧陵像

脈々と受け継がれる
耐久の教育

校訓：「真 健 美」

「ものの見方や考え方をしっかり身につけ、人としてどうあるべきかやどうすべきかを判断し、たくましく健康的に生きる」、人間として必要なバランスのとれた力の育成を目指しています。

校風：「文を修め、武を練る」

勉学、部活動、学校行事等、あらゆることに惜しむことなく全力を注ぎ、青春時代を充実させようという気風です。

② 65分授業で、学習量・学習内容ともに充実しています。

グループ学習、発表など、生徒が主体的に学ぶ機会や、学力定着に有効な小テスト・問題演習を充実させています。さらに、学校をあげて授業改善（授業のレベルアップ）に取り組んでいます。



引き締った雰囲気での授業



グループ学習

③ 全教室へのICTや自学スペース等、学習環境は充実しています。

職員室前に質問や自習を行う部屋が多く用意され、いつも満席・満室状態です。



ICTを活用した授業



職員室前で質問や自習をする生徒



昼休みや放課後に活用できる自習室（耐久舎）

④ 将来の広い可能性につながる教育課程で学びます。

学力の基盤を固めるために、2年までは、5教科を中心に全生徒がほぼ同じ科目を学習します。

H28年度 教育課程表（65分授業の2週間での回数）												
3 年 文	現文	古典	総数	公民研	日本史 地理研 世界史	芸文 国表 数研	芸術 理科探 生物	情報	体育	コミュ英	英表	総学
	3	7	6	4	5	4	5	3	3	6	4	2
3 年 理	現文	古典	物理 生物	公民 地理	数学Ⅲ	化学	情報	体育	コミュ英	英表	総学	
	3	5	8	4	9	5	3	3	6	4	2	

2 年	現文	古典	日本史 地理	数Ⅱ	総数 数Ⅲ	数B	化学 基礎	物探 生探	芸術	家庭	体育	コミュ英	英表	総学
	3	5	6	7	3	4	3	2	3	4	6	4	2	

1 年	国総	世界史	現社	数ⅠA	数Ⅱ	物基	生基	芸術	保健	体育	コミュ英	英表	総学
	8	4	3	10	3	3	2	3	4	6	4	2	

※教育課程の細部については、今後、変更することがあります。

⑤ 日々の努力・取組を重視する成績評価を行います。

「定期考査の結果」と「小テストや授業中の取組など」を、同じ割合で評価し成績がつけられます。

時間割（1年1組A週）						
	月	火	水	木	金	
1限	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR	8:15 8:25 8:30
	国総 古典	生物 基礎	数学 ⅠA	数学 ⅠA	数学 ⅠA	
2限	現代 社会	国総 現文	生物 基礎	保健	世界史A	9:35 9:45
	体 135	物理 基礎	世界 史A	英表 Ⅰ	芸Ⅰ 12	
3限	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩	10:50 11:00
	コミュ 英Ⅰ	英表 Ⅰ	コミュ 英Ⅰ	物理 基礎	国総 現文	
4限	数学 ⅠA	数学 ⅠA	体 135	国総 古典	コミュ 英Ⅰ	12:05 12:45
	総合 学習			LHR		
5限						13:50 14:00
6限						15:05 15:15
						16:05

成 績	
RE点 (50%)	LA点 (50%)
中間や期末等の 定期考査の点数	・小テストの点数 ・週末課題や宿題の提出 ・ノートやワークシートの内容 ・授業態度や意欲、取組

⑥ 働くことや学ぶことの意義・目的をしっかりと考えます。

10年・20年先を視野に、人生をいかに生きるか、社会の中でどう自分を活かすのかを深く考える学習を行います。



先輩方から生き方なり方を
学ぶ志学ゼミ

⑦ やる気にスイッチが入る仕掛けや、前向きになる雰囲気を作ります。

大学訪問、進路講演などが充実し、チャレンジ精神をかき立てます。様々な分野で頑張っている生徒は全校で褒めて、みんなの目標にします。



大学訪問（立命館大学）



進路セミナー（和歌山大学）



頑張った生徒への褒賞

⑧ 品格と活力を高めます。

凛とした立ち居振る舞いと、特色ある学校行事や部活動を通じて、耐久生としてのアイデンティティを高めます。

⑨ 海外姉妹校を核とした国際理解教育をすすめます。

姉妹校への短期留学や、海外の高校生との交流学習を活発に行っています。



アメリカ短期留学



ハイスchool世界サミットin福岡



アジア・オセアニアフォーラム

耐久高校は、このような人を育て、社会や上級学校へ送り出します。

- ※ 人や社会のために、汗をかき、労を惜しまない人
- ※ 社会の様々な分野でリーダーシップを発揮できる人



二〇一五 学校再生改革「耐久Rebirth」
スタート
国連総会で十一月五日を「世界津波の日」に制定

二〇一一 創立一六〇周年記念式典開催
東京大学名誉教授 谷川維紹氏
（高校一八期）記念講演

二〇一一 （東日本大震災、福島原発事故）

二〇一〇 軟式野球部 秋季近畿大会優勝

二〇〇二 創立一五〇周年記念式典開催
濱口梧陵像建立
京都府立医科大学教授 酒井敏行氏
（高校一四期）記念講演

二〇〇〇 グローバル探究科設置（二〇〇六年）

一九九六 全国高校総合体育大会「男子砲丸投げ」優勝

一九八八 マンドリン部、全国高校ギター・マンドリンフェスティバル全国知事会賞受賞

一九八三 米国ケンブリッジ高校と姉妹校提携

一九八〇 第一回ロングハイキング実施

一九七九 第一期長期留学生受け入れ

一九七四 生物部（現、自然科学部）日本学生科学賞全国一位「沼地の生態」

一九七六 全国高校空手道選手権「防具組手」個人戦優勝

一九七八 バレーボール部、春の高校バレーベスト8（耐久旋風）
木下繁氏（旧中一九回生）制作プロレス裸婦像「爽」建立

一九七三 瀬藤繁氏（旧中二回生）文化勲章受章
（アルマイトの工業化に成功し、電子顕微鏡の開発につくした文化勲章は耐久高校で保管されている）

一九六九 理科科設置（一九七八年）

一九七一 黒潮国体 バドミントン競技会場

一九五二 創立一〇〇周年祭挙行
全国相撲大会で団体優勝

一九四八 戦後の学制改革で、和歌山県立耐久高等学校発足
（終戦後、視察に訪れた進駐軍将校が、ナイアガラ滝の滝を前にしている創始者・濱口梧陵の肖像画をみて感動し、耐久の校名がそのまゝ残ったという秘話がある）

一九四六 （新憲法発布）
十二月二十一日、昭和南海地震、大津波で校舎に大被害

一九四二 創立七〇周年記念式挙行
治氏、講演

一九三七 「稲むらの火」が国定教科書に採択

一九三九 （第一次世界大戦勃発）

一九四五 （ボツダム宣言受諾、終戦）

一九四二 創立七〇周年記念式挙行
治氏、講演

一九三九 （第一次世界大戦勃発）

一九三二 創立七〇周年記念式挙行
治氏、講演

一九二〇 県立に移管、和歌山県立耐久中学校と改称

一九一八 私立耐久中学校と改称

一九一六 有田高等女学校開校（一九四八）

一九一五 有田高等女学校開校（一九四八）

一九一四 有田高等女学校開校（一九四八）

一九一三 有田高等女学校開校（一九四八）

一九一二 有田高等女学校開校（一九四八）

一九一〇 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇九 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇八 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇七 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇六 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇五 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇四 有田高等女学校開校（一九四八）

一九〇三 有田高等女学校開校（一九四八）

本校の沿革